

◇ 10月の天文暦

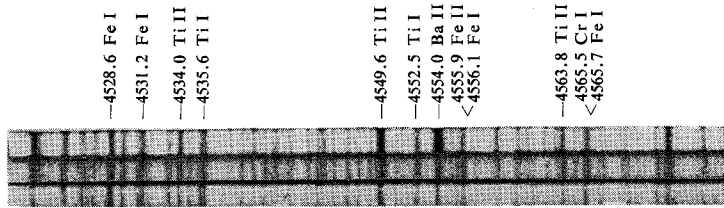
日時	記	事
6 01	朔	
8 15	寒 露 (太陽黄経 195°)	
8~15	竜座流星群	
12 12	月 最遠	
14 02	上 弦	
16 04	水 星 外合	
18~23	オリオン座流星群	
19 07	ヴェスタ 留	
20 18	土 用 (太陽黄経 207°)	
21 14	望	
23 18	霜 降 (太陽黄経 210°)	
24 07	月 最近	
28 07	下 弦	

山 羊 座 ζ 星

山羊座の東よりある4等星ζは、ヘンリードレーパー星表によると、スペクトル型はG5pとなっている。pは特異型のスペクトルを表わす添字で、この星で

は電離バリウムの4554A・4934Aや、電離ストロンチウムの4078A・4216Aなどの吸収線が特に強い。一般にこのような電離金属の線は、巨星になると強くなるが、今の場合は星の大気温度や圧力を変えることだけでは説明がつかないほど強く、化学組成に異常があると思われる。このようなG・K型の巨星は、他にも10個あまりが発見されていて、電離バリウム星(BaII星)とよばれている。

パービッチ夫妻が、HD 46407のスペクトルを調べた結果では、鉄・クロム・チタンなど比較的軽い金属元素の量は正常に近いが、ストロンチウムよりも重い元素の大部分——バリウム・ジルコニウム・希土類などは、正常の星の数倍から十数倍多い。これらは元素生成の理論から、星の内部で鉄などに中性子が加わる反応によって作られ、対流によって表面まで運ばれてきたとして説明される。S型星の化学組成は、定量的にはまだ少しかわかっていないが、大体の傾向はBaII星と一致し、BaII星はS型星のより高温への延長であって、M-S-C分岐がG型のあたりですでに始まっていることを示している。



山羊座 ζ (Ba II)
 橋 座 β (G 5 II)
 牛 飼 座 ε A (G 8 A)

岡山天体物理観測所 74 インチ反射鏡クーデ分光器で撮影

東京における日出入および南中 (中央標準時)

各地の日出入補正值 (東京の値に加える)

X月	夜明		日出		方位	南中		高度	日暮			
	時	分	時	分		時	分		時	分	時	分
日	時	分	時	分		時	分		時	分	時	分
1	5	3	5	35	- 3.2	11	31	51.3	17	26	17	57
11	5	11	5	44	- 8.0	11	28	47.4	17	12	17	43
21	5	20	5	52	-12.5	11	26	43.7	16	59	17	31
31	5	28	6	2	-16.8	11	25	40.2	16	47	17	21

		分		分		分		分		
		+	-	+	-	+	-	+	-	
鹿	児島	+32	+43	鳥	取	+20	+25	仙	台	- 4 - 3
福	岡	+34	+42	大	阪	+13	+21	青	森	- 1 - 5
広	島	+26	+33	名	古屋	+ 9	+15	札	幌	- 2 -10
高	知	+22	+29	新	潟	+ 3	+ 4	根	室	-18 -27

(左側は日入に対する値)

